

6 消 安 第 5794 号
6 農 振 第 2294 号
令和 7 年 1 月 14 日

各都道府県家畜衛生・鳥獣対策担当部長 殿

農林水産省消費・安全局動物衛生課長
農林水産省農村振興局農村政策部鳥獣対策・農村環境課長

国際連合食糧農業機関（FAO）による春節におけるアフリカ豚熱の警告を踏
まえた関係機関における連携強化について

今般、国際連合食糧農業機関（FAO）から、春節時期におけるアフリカ豚熱の感染拡大リスクが高まることについて、別紙のとおり警告が発出されました。

本警告では、「林業及び環境当局並びにイノシシの個体群と接触している狩猟管理当局と緊密に協力し、情報を共有し、アフリカ豚熱の監視及び予防活動を共同で実施することで、潜在的なウイルスの侵入に備える。」とされています。

我が国においても、春節を迎え、海外からの旅行者の増加が見込まれるところ。野生いのししでのアフリカ豚熱感染防止対策の推進及び万一の発生時における的確な防疫措置の実施のため、関係省庁、各都道府県及び関係団体間における連携をさらに強化することは重要です。

つきましては、アフリカ豚熱対策に関する関係者会議の実施、防疫演習、周知活動等を通じて連携強化に御対応いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、本件については別添のとおり、関係省庁、各地方農政局及び一般社団法人 大日本猟友会宛てに通知していることを申し添えます。



6 消 安 第 5794 号
6 農 振 第 2294 号
令和 7 年 1 月 14 日

一般社団法人 大日本獺友会 会長 殿

農林水産省消費・安全局動物衛生課長
農林水産省農村振興局農村政策部鳥獣対策・農村環境課長

国際連合食糧農業機関（FAO）による春節におけるアフリカ豚熱の警告を踏
まえた関係機関における連携強化について

平素より家畜伝染病対策の推進において連携した対応をいただき感謝申し上げます。

今般、国際連合食糧農業機関（FAO）から、別紙のとおり、春節時期におけるアフリカ豚熱の感染拡大リスクが高まることについて、警告が発出されました。

本警告では、「林業及び環境当局並びにイノシシの個体群と接触している狩猟管理当局と緊密に協力し、情報を共有し、アフリカ豚熱の監視及び予防活動を共同で実施することで、潜在的なウイルスの侵入に備える。」とされています。

我が国においても、春節を迎え、海外からの旅行者の増加が見込まれるところ。野生いのししでのアフリカ豚熱感染防止対策の推進及び万一の発生時における的確な防疫措置の実施のため、関係省庁、各都道府県及び関係団体間における連携をさらに強化することは重要です。

つきましては、本警告について貴会会員の皆様に周知いただくとともに、連携強化にご対応いただきますようお願い申し上げます。

なお、本件については別添のとおり、各都道府県家畜衛生・鳥獣対策担当部長及び関係省庁宛てに通知していることを申し添えます。

(別添)

写

6 消 安 第 5794 号
令和 7 年 1 月 14 日

各地方農政局消費・安全部長 殿

農林水産省消費・安全局動物衛生課長

国際連合食糧農業機関（FAO）による春節におけるアフリカ豚熱の警告を踏
まえた関係機関における連携強化について

このことについて、別添のとおり各都道府県家畜衛生・鳥獣対策担当部長宛てに通
知したので、御了知願います。

(別添)

写

6 消 安 第 5794 号
令和 7 年 1 月 14 日

北海道農政事務所消費・安全部長 殿

農林水産省消費・安全局動物衛生課長

国際連合食糧農業機関（FAO）による春節におけるアフリカ豚熱の警告を踏
まえた関係機関における連携強化について

このことについて、別添のとおり各都道府県家畜衛生・鳥獣対策担当部長宛てに通
知したので、御了知願います。

(別添)

写

6 消 安 第 5794 号

6 農 振 第 2294 号

令和 7 年 1 月 14 日

内閣府沖縄総合事務局農林水産部長 殿

農林水産省消費・安全局動物衛生課長
農林水産省農村振興局農村政策部鳥獣対策・農村環境課長

国際連合食糧農業機関（FAO）による春節におけるアフリカ豚熱の警告を踏
まえた関係機関における連携強化について

このことについて、別添のとおり各都道府県家畜衛生・鳥獣対策担当部長宛てに通
知したので、御了知願います。



6 消 安 第 5794 号
令和 7 年 1 月 14 日

環境省 自然環境局野生生物課長 殿

農林水産省消費・安全局動物衛生課長

国際連合食糧農業機関（FAO）による春節におけるアフリカ豚熱の警告を踏
まえた関係機関における連携強化について

平素より家畜伝染病対策の推進において連携した対応をいただき感謝申し上げます。

今般、国際連合食糧農業機関（FAO）から、別紙のとおり、春節時期におけるアフリカ豚熱の感染拡大リスクが高まることについて、警告が発出されました。

本警告では、「林業及び環境当局並びにイノシシの個体群と接触している狩猟管理当局と緊密に協力し、情報を共有し、アフリカ豚熱の監視及び予防活動を共同で実施することで、潜在的なウイルスの侵入に備える。」とされています。

我が国においても、春節を迎え、海外からの旅行者の増加が見込まれるところ。野生いのししでのアフリカ豚熱感染防止対策の推進及び万一の発生時における的確な防疫措置の実施のため、関係省庁、各都道府県及び関係団体間における連携をさらに強化することは重要です。

つきましては、各都道府県家畜衛生・野生いのしし対策担当部長及び一般社団法人大日本猟友会宛てに別添のとおり通知しておりますので、本警告について各都道府県の貴課関係部局へ周知いただくとともに、連携強化にご対応いただきますようお願い申し上げます。



6 消 安 第 5794 号
令和 7 年 1 月 14 日

環境省 環境再生・資源循環局廃棄物適正処理推進課長 殿

農林水産省消費・安全局動物衛生課長

国際連合食糧農業機関（FAO）による春節におけるアフリカ豚熱の警告を踏
まえた関係機関における連携強化について

平素より家畜伝染病対策の推進において連携した対応をいただき感謝申し上げます。

今般、国際連合食糧農業機関（FAO）から、別紙のとおり、春節時期におけるアフリカ豚熱の感染拡大リスクが高まることについて、警告が発出されました。

本警告では、「林業及び環境当局並びにイノシシの個体群と接触している狩猟管理当局と緊密に協力し、情報を共有し、アフリカ豚熱の監視及び予防活動を共同で実施することで、潜在的なウイルスの侵入に備える。」とされています。

我が国においても、春節を迎え、海外からの旅行者の増加が見込まれるところ。野生いのししでのアフリカ豚熱感染防止対策の推進及び万一の発生時における的確な防疫措置の実施のため、関係省庁、各都道府県及び関係団体間における連携をさらに強化することは重要です。

つきましては、各都道府県家畜衛生・野生いのしし対策担当部長及び一般社団法人大日本猟友会宛てに別添のとおり通知しておりますので、本警告について各都道府県の貴課関係部局へ周知いただくとともに、連携強化にご対応いただきますようお願い申し上げます。



6 消 安 第 5794 号
令和 7 年 1 月 14 日

林野庁 業務課長 殿

農林水産省消費・安全局動物衛生課長

国際連合食糧農業機関（FAO）による春節におけるアフリカ豚熱の警告を踏
まえた関係機関における連携強化について

平素より家畜伝染病対策の推進において連携した対応をいただき感謝申し上げます。

今般、国際連合食糧農業機関（FAO）から、別紙のとおり、春節時期におけるアフリカ豚熱の感染拡大リスクが高まることについて、警告が発出されました。

本警告では、「林業及び環境当局並びにイノシシの個体群と接触している狩猟管理当局と緊密に協力し、情報を共有し、アフリカ豚熱の監視及び予防活動を共同で実施することで、潜在的なウイルスの侵入に備える。」とされています。

我が国においても、春節を迎え、海外からの旅行者の増加が見込まれるところ。野生いのししでのアフリカ豚熱感染防止対策の推進及び万一の発生時における的確な防疫措置の実施のため、関係省庁、各都道府県及び関係団体間における連携をさらに強化することは重要です。

つきましては、各都道府県家畜衛生・野生いのしし対策担当部長及び一般社団法人大日本猟友会宛てに別添のとおり通知しておりますので、本警告について各都道府県の貴課関係部局へ周知いただくとともに、連携強化にご対応いただきますようお願い申し上げます。



6 消 安 第 5794 号
令和 7 年 1 月 14 日

林野庁 研究指導課長 殿

農林水産省消費・安全局動物衛生課長

国際連合食糧農業機関（FAO）による春節におけるアフリカ豚熱の警告を踏
まえた関係機関における連携強化について

平素より家畜伝染病対策の推進において連携した対応をいただき感謝申し上げます。

今般、国際連合食糧農業機関（FAO）から、別紙のとおり、春節時期におけるアフリカ豚熱の感染拡大リスクが高まることについて、警告が発出されました。

本警告では、「林業及び環境当局並びにイノシシの個体群と接触している狩猟管理当局と緊密に協力し、情報を共有し、アフリカ豚熱の監視及び予防活動を共同で実施することで、潜在的なウイルスの侵入に備える。」とされています。

我が国においても、春節を迎え、海外からの旅行者の増加が見込まれるところ。野生いのししでのアフリカ豚熱感染防止対策の推進及び万一の発生時における的確な防疫措置の実施のため、関係省庁、各都道府県及び関係団体間における連携をさらに強化することは重要です。

つきましては、各都道府県家畜衛生・野生いのしし対策担当部長及び一般社団法人大日本猟友会宛てに別添のとおり通知しておりますので、本警告について各都道府県の貴課関係部局へ周知いただくとともに、連携強化にご対応いただきますようお願い申し上げます。

【仮抄訳】FAO（国連食糧農業機関）による春節シーズンの アフリカ豚熱拡大リスクに関するアラート

FAO は、春節シーズンにおけるアフリカ豚熱（ASF）に対する警戒と準備の強化を求めている。ASF の発生は、アジア太平洋地域や世界各地で報告され続けており、2018 年以降、アジアのほとんどの国に拡大している。この疾病は家畜及び野生の豚に影響を与え、ヒトの健康には脅威を及ぼさない一方で、食料安全保障、生計、経済に甚大な影響を及ぼす。

過去1年間で、アジア太平洋地域の複数の国が ASF の新規発生を国際獣疫事務局に通知した。これには、バングラデシュ、ブータン、中国（香港特別行政区）、モンゴル、ネパール、フィリピン、韓国、タイが含まれる。

フィリピンでは、動物産業局が ASF 発生に関する更新情報を引き続き公開している。インドネシアでは、政府が11州で新たな ASF 症例を確認した。インドとベトナムの地方自治体も最近 ASF の発生を発表した。さらに、スリランカは2024年10月25日付の官報を通じて同国初の ASF 症例を確定し、WOAH に通知した。

人の活動は ASF の世界的な拡散において重要な役割を果たす。ASF ウイルスは、生のソーセージ、ハム、加工肉製品において数ヶ月間感染力を維持することがある。生の豚肉や残飯の給与は、ASF ウイルスの主な侵入源及び感染経路である。家畜や動物製品の世界的な移動・取引の活発化に伴い、ASF ウイルスが清浄国に持ち込まれるリスクが高まっている。発生国から帰国した観光客、出稼ぎ労働者、学生、ハンター等が偶然に持ちこむ、あるいは個人使用または商業目的で意図的に密輸することによる、豚肉製品の違法または非管理下の輸入が継続的な脅威となっている。これらの侵入経路に対する注視は、とりわけ2025年の春節期間中及びその前後は、人、豚肉製品、そして動物の移動が増加するため、極めて重要である。

＜推奨される措置＞

- リスク分析に基づいて水際等における検査を強化し、潜在的に汚染された豚肉製品の持ち込みリスクを最小限に抑える。
- 農場におけるバイオセキュリティ及び飼養管理を改善し、家畜及び野生の豚への ASF ウイルス侵入リスクを低減する。
- ウイルスの早期発見、即時通報及び迅速な封じ込め対策を確保する。
- ウイルス検出の可能性が高い動物（死亡直後の動物等）を対象としたターゲットサンプリングを実施する。
- 特にワクチン接種が行われている地域や、組換え ASF ウイルスが確認された、または導入リスクがある地域において、能動的サーベイランスを検討する。
- 林業及び環境部門、ならびに野生豚と接触する狩猟管理当局と緊密に協力する。
- 民間部門（生産者や通関業者等）と連携し、早期の通報及び対応を促進する。
- 啓発キャンペーンを強化する。



alert



FAO ALERT ON **AFRICAN SWINE FEVER** – HIGH RISK OF SPREAD DUE TO LUNAR NEW YEAR HOLIDAYS SEASON

24 December 2024

Key facts:

- 1. African swine fever (ASF)** is a fatal viral disease of domestic and wild pigs of all ages. While it poses no risk to human health, ASF has severe impacts on food security, livelihoods and global markets. Currently, there is no effective vaccine or treatment available.
- 2. Clinical signs:** Although suggestive and important for detection, clinical signs are not specific to ASF. Usually, the first signs include a lack of appetite, hind limb weakness, ataxia, or sudden death. In the acute infection stage, large amounts of the virus are shed 24-48 hours before clinical signs appear. The incubation period varies between 4 and 15 days.
- 3. Differential diagnoses:** Numerous differential diagnoses for ASF exist, with similar clinical signs and pathological lesions. These include classical swine fever (CSF), porcine reproductive and respiratory syndrome (PRRS) and porcine dermatitis nephropathy syndrome (PDNS), erysipelas, salmonellosis and pasteurellosis.
- 4. Laboratory diagnosis:** Recommended tissues for diagnostic tests include the tonsil, lymph nodes, kidneys and lungs. In older carcasses, the marrow of long bones is preferred, as it can retain the virus for an extended period.

FAO calls for increased vigilance and preparedness for African swine fever (ASF) during the Lunar New Year holiday season. ASF outbreaks continue to be reported in Asia and the Pacific, as well as globally. Since 2018, ASF has spread to most Asian countries. The disease affects domestic and wild pigs and, although not a threat to human health, has devastating impacts on food security, livelihoods and economies in affected countries.

Over the past year, several countries in Asia and the Pacific have notified the World Organisation for Animal Health (WOAH) of new ASF outbreaks [[WAHIS](#)]. These include Bangladesh, Bhutan, China (Hong Kong Special Administrative Region), Mongolia, Nepal, the Philippines, the Republic of Korea and Thailand.

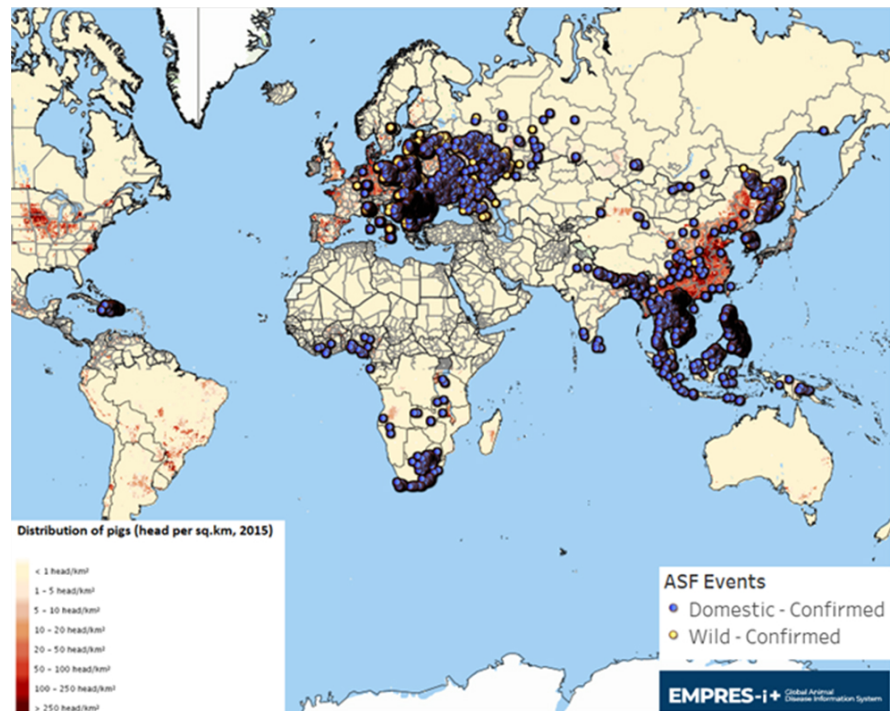
In the Philippines, the Bureau of Animal Industry has continued to release updates on ASF outbreaks [[BAI, 2024](#)]. In Indonesia, the government confirmed additional ASF cases in 11 provinces [[ISIKHNAS, 2024](#)]. Local governments in India and Viet Nam recently announced ASF outbreaks [[FAO, 2024a](#)]. In addition, Sri Lanka confirmed its first-ever ASF case through an [Extraordinary Gazette](#) dated 25 October 2024 and notified WOAH.

Human activities play a significant role in the global spread of ASF. The virus can remain infectious in raw sausage, ham and processed meat products for up to several months. Raw pork and swill feeding are major sources and modes of virus introduction. The risk of ASF virus being introduced into countries free from the disease has increased due to intensified global movement and trade of livestock and animal products. Illegal or uncontrolled imports of pig products, either accidentally through tourists, migrant workers, students, or hunters returning from endemic countries, or intentionally through smuggled pork products for personal or commercial use, pose a continuous threat. Heightened attention to these introduction routes is critically important, particularly with the increased movement of people, pork products and potentially animals before, during and after the Lunar New Year 2025 celebrations.

Useful Links

- ▶ African swine fever (ASF) situation update in Asia & Pacific
<https://www.fao.org/animal-health/situation-updates/asf-in-asia-pacific/en>
- ▶ African swine fever detection and diagnosis. A manual for veterinarians (FAO Manual 2017)
<https://openknowledge.fao.org/handle/20.500.14283/i7228en>
- ▶ African swine fever field manual- Steps in swine handling and sample collection for African swine fever outbreak investigation (FAO 2023)
<https://doi.org/10.4060/cc6300en>
- ▶ African swine fever in wild boar - Ecology and biosecurity (EC, FAO and WOA 2022)
<https://doi.org/10.4060/cc0785en>
- ▶ Addressing African Swine Fever: Laboratory protocols and algorithms" in collaboration with ACDP (FAO 2020)
<https://openknowledge.fao.org/handle/20.500.14283/cb1430en>
- ▶ African swine fever prevention, detection and control in resource-limited settings (FAO Guidelines 2023)
<https://doi.org/10.4060/cc7491en>
- ▶ Joint ASF communication campaign (WOAH and FAO 2020)
<https://trello.com/b/GloiZoik/africanswine-fever-woah-fao>
- ▶ FAO. 2024. Global consultation on African swine fever – Rome, Italy 12–14 December 2023. FAO Animal Production and Health Reports, No. 23. Rome
<https://doi.org/10.4060/cd1398en>

Figure 1. Global ASF confirmed events in wild and domestic pigs from 1 January 2020 to 20 November 2024



Source: UN Geospatial. 2020. Map of the World. United Nations. Cited November 2024. www.un.org/geospatial/file/3420/download?token=TUP4DmF. Modified with GLW 4 data and Emergency Prevention System Global Animal Disease Information System (EMPRES-i+), WOA and National Authorities data, 2024.

Disclaimer: The boundaries and names shown and the designations used on these map(s) do not imply the expression of any opinion whatsoever on the part of FAO concerning the legal status of any country, territory, city or area or of its authorities, or concerning the delimitation of its frontiers and boundaries. Dashed lines on maps represent approximate border lines for which there may not yet be full agreement. Final boundary between the Sudan and South Sudan has not yet been determined. Final status of the Abyei area is not yet determined. Dotted line represents approximately the Line of Control in Jammu and Kashmir agreed upon by India and Pakistan. The final status of Jammu and Kashmir has not yet been agreed upon by the parties.

INCREASED AFRICAN SWINE FEVER RISK

The risk of introduction and spread of ASF into countries free from the disease is elevated due to intensified travel around the Lunar New Year (29 January 2025):

- Millions of people are expected to travel for tourism and to visit their home countries during this holiday season.
- Most of this travel will be within Asian countries, but also to and from other parts of the world.
- Uncontrolled imports of pig products carried by travellers increase the risk of ASF spread and introduction.

RECOMMENDATION ACTIONS

In light of the elevated risk, FAO is calling on all Chief Veterinary Officers to increase ASF prevention and preparedness activities to reduce the likelihood of outbreaks and subsequent impacts on livelihoods and economies. This includes:

- **Enhancing inspections at international borders, national administrative borders and high-risk traffic routes, based on risk analysis** to minimize the risk of introducing potentially infected pork products.

Contacts

FAO Emergency Prevention System for
Animal Health (EMPRES)
EMPRES-Animal-Health@fao.org

- **Improving biosecurity and good husbandry practices** on farms to lower the risk of ASF virus introduction to domestic and wild pig populations at all levels, from national, international and internal administrative borders to sub-national and farm levels.
- **Ensuring measures are in place for early detection, timely reporting and rapid containment** of the virus, as delays can lead to rapid spread. Encouraging suspect disease reporting to veterinary authorities by farmers, hunters and other stakeholders through policies, and making provisions for adequate compensation if animals are culled.
- **Implementing targeted sampling of animals with a higher likelihood of virus detection** (i.e. dying or recently dead animals). The unspecific clinical signs require laboratory confirmation, necessitating adequate logistical capacity, equipment, reagents and skilled personnel.
- **Considering active surveillance, particularly in areas using vaccination or where recombinant ASF virus has been confirmed or at risk of introduction.** In both scenarios, clinical signs can be mild or subclinical. FAO urges Member Nations to submit samples of any suspected new variants to ASF reference laboratories (e.g. [Australian Centre for Disease Preparedness](#)).
- **Collaborating closely with forestry and environment sectors, as well as game management authorities** in contact with wild pig populations, to share information and jointly conduct ASF surveillance and prevention activities, in advance of potential virus introduction.
- **Facilitating early reporting and response by consulting closely with the private sector** (i.e. producers, traders and related businesses). Preparing and disseminating communication materials before ASF virus introduction can minimize misunderstanding and rumours. Maintaining a high level of awareness on ASF risks and management among veterinarians, farmers, butchers, hunters, international travellers and other stakeholders.
- **Reinforcing awareness campaigns.** FAO and WOAHA have developed multilingual communication materials (available in Chinese, English, French, Russian and Spanish) as part of a joint communication campaign.

FAO's **One Health and Disease Control Group**, in collaboration with institutional partners, remains **fully committed to assisting and supporting** countries in enhancing preparedness, detection, emergency response, and recovery capabilities.

Required citation:

FAO. 2024. *FAO alert on African swine fever – High risk of spread due to lunar new year holidays season*. Rome.
<https://doi.org/10.4060/cd3826en>



Some rights reserved. This work is available under a CC BY-NC-SA 3.0 IGO licence

- (1) 原因：アフリカ豚熱ウイルス (African Swine Fever virus)
- (2) 宿主：豚、いのしし（ダニによっても媒介）※人には感染しない
- (3) 分布：アフリカ、欧州の一部（ロシア及びその周辺国、東欧）のほか、平成30年8月に中国で発生（アジアで初の発生）以降、アジア地域での発生が拡大。訪日外国人の増加、畜産物の違法輸入件数の増加により、日本への侵入リスクの増大。

※ 日本未発生。

- (4) 症状：甚急性～不顕性まで幅広い病態を示す。

現在の世界流行株では急性経過で死亡。

※ 豚熱に酷似するがより病原性は強い傾向。

※ ワクチン、治療法はない。

※ ウイルスは環境耐性があり、食肉・死体等でも長期に感染性保持。

→感染動物は急激に弱る・死亡＋死体のウイルスは長期間残存

→イノシシ感染事例では死体対策が極めて重要



【全身の出血性病変、チアノーゼ】

(出典：Veterinary school of Barcelona, Spain Centro de Vigilancia Sanitaria Veterinaria, Spain)

豚熱とは（参考）

- (1) 原因：豚熱ウイルス (Classical Swine fever virus)
- (2) 宿主：豚、いのしし ※人には感染しない
- (3) 分布：欧州、アジア、アフリカ、南米の一部の国々
 - ※ 我が国では平成30年9月に26年ぶりに発生。
 - 飼養豚では23都県、野生イノシシでは38都府県で発生（令和6年12月時点）。
- (4) 症状：急性、亜急性、慢性型等多様な病態を示す。発熱・白血球減少。
 - ※ 有効なワクチンが存在



【皮膚紫斑（しはん）】
(出典：動物衛生研究部門)

(別添)

写

6 農 振 第 2294 号
令和 7 年 1 月 14 日

関東農政局農村振興部長 殿

農村振興局農村政策部鳥獣対策・農村環境課長

国際連合食糧農業機関（FAO）による春節におけるアフリカ豚熱の警告を踏
まえた関係機関における連携強化について

このことについて、別添のとおり各都道府県家畜衛生・鳥獣対策担当部長宛てに通
知したので、御了知願います。

(別添)

写

6 農 振 第 2294 号
令和 7 年 1 月 14 日

近畿農政局農村振興部長 殿

農村振興局農村政策部鳥獣対策・農村環境課長

国際連合食糧農業機関（FAO）による春節におけるアフリカ豚熱の警告を踏
まえた関係機関における連携強化について

このことについて、別添のとおり各都道府県家畜衛生・鳥獣対策担当部長宛てに通
知したので、御了知願います。

(別添)

写

6 農 振 第 2294 号
令和 7 年 1 月 14 日

九州農政局農村振興部長 殿

農村振興局農村政策部鳥獣対策・農村環境課長

国際連合食糧農業機関（FAO）による春節におけるアフリカ豚熱の警告を踏
まえた関係機関における連携強化について

このことについて、別添のとおり各都道府県家畜衛生・鳥獣対策担当部長宛てに通
知したので、御了知願います。

(別添)

写

6 農 振 第 2294 号
令和 7 年 1 月 14 日

中国四国農政局農村振興部長 殿

農村振興局農村政策部鳥獣対策・農村環境課長

国際連合食糧農業機関（FAO）による春節におけるアフリカ豚熱の警告を踏
まえた関係機関における連携強化について

このことについて、別添のとおり各都道府県家畜衛生・鳥獣対策担当部長宛てに通
知したので、御了知願います。

(別添)

写

6 農 振 第 2294 号
令和 7 年 1 月 14 日

東海農政局農村振興部長 殿

農村振興局農村政策部鳥獣対策・農村環境課長

国際連合食糧農業機関（FAO）による春節におけるアフリカ豚熱の警告を踏
まえた関係機関における連携強化について

このことについて、別添のとおり各都道府県家畜衛生・鳥獣対策担当部長宛てに通
知したので、御了知願います。

(別添)

写

6 農 振 第 2294 号
令和 7 年 1 月 14 日

東北農政局農村振興部長 殿

農村振興局農村政策部鳥獣対策・農村環境課長

国際連合食糧農業機関（FAO）による春節におけるアフリカ豚熱の警告を踏
まえた関係機関における連携強化について

このことについて、別添のとおり各都道府県家畜衛生・鳥獣対策担当部長宛てに通
知したので、御了知願います。

(別添)

写

6 農 振 第 2294 号
令和 7 年 1 月 14 日

北陸農政局農村振興部長 殿

農村振興局農村政策部鳥獣対策・農村環境課長

国際連合食糧農業機関（FAO）による春節におけるアフリカ豚熱の警告を踏
まえた関係機関における連携強化について

このことについて、別添のとおり各都道府県家畜衛生・鳥獣対策担当部長宛てに通
知したので、御了知願います。